

■ 調査内容

学年	テストの難易度	テスト内容		満点 スコア
		筆記問題	リスニング問題	
3年	英検 3～5 級レベル	50 題	30 題	460 点
2年	英検 4～5 級レベル	40 題	25 題	400 点
1年	英検 5 級レベル	25 題	25 題	340 点

■ 調査結果

【「語い等」「英文構成」「読解」「リスニング」の値は大阪市の分野別平均正答率(%)】

3年	平均スコア(点/460点)	語い等	英文構成	読 解	リスニング	英検3級レベル以上の割合(%)
	298.7	80.8	59.0	63.9	69.4	29.9
2年	平均スコア(点/400点)	語い等	英文構成	読 解	リスニング	英検4級レベル以上の割合(%)
	281.4	76.7	84.9	74.4	77.5	52.3
1年	平均スコア(点/340点)	語い等	英文構成	読 解	リスニング	英検5級レベル以上の割合(%)
	230.3	72.5	70.1	54.1	83.7	67.9

■ 結果の概要と今後の取組について

学年	結果の概要と今後の取組について
3年	<p>「語い等」「読解」「リスニング」の3分野においては平均正答率が60%を上回っているものの、「英文構成」の分野は60%を下回った。</p> <p>英文構成力の向上を目指し、多くの基礎的な例文を確実に習得させるとともに、生徒が英文を自ら構成する機会の充実を図っていくことが必要である。</p> <p>そのために、ある程度まとまった量の英文を読んだり、書いたりする活動を継続的に取り入れることが必要である。</p>
2年	<p>4分野すべてにおいて平均正答率が70%を上回っている。また、英文構成においては80%を超えている。4分野の平均正答率のバランスも良い。</p> <p>読解の理解を深めるために、本文以外のある程度まとまった量の英語を読ませ、内容理解を図る取組を増やす必要がある。</p> <p>そのために70語～80語程度の読み物教材を用いた読解指導を帯活動として取り入れるなど、読解の技能に焦点をあてた活動を継続的に展開していく必要がある。</p>
1年	<p>「読解」の平均正答率が60%を下回り、他の3分野と比較しても正答率が低い。それに対して「リスニング」の平均正答率は80%を達成した。</p> <p>1年の段階での「読解」の課題は文構造の理解よりも、単語の意味認識において理解が進んでいないことが考えられる。そこで生徒の語い数を効果的に増やすことを目指し、単語の音・文字・意味を大量にインプットする必要がある。</p> <p>そのためにチャンツや歌、絵本を活用した短時間の繰り返し学習を帯活動として取り入れた授業形態を定着させることが必要である。</p>